

題材名「戦争について考えよう」

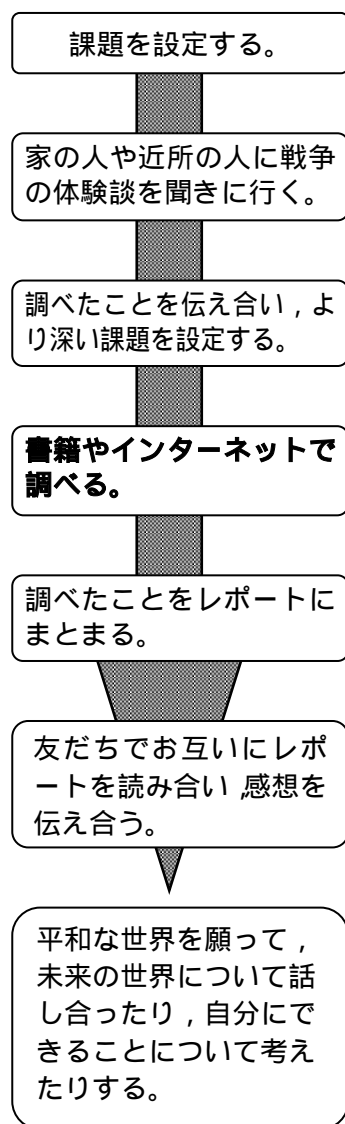
目標

- ・ 地域の戦争の歴史を調べると共に、資料やインターネットを活用し、戦争中の人々の暮らしについて調べ、戦争が多くの人々に多大な被害を与えたことを理解する。
- ・ 平和についての願いをもち、自分にできることは何かを考えることができる。

コンピュータを活用する利点

戦争を直接体験された方々の減少により、体験談を聞いたり資料を集めたりするのが困難となりつつある。しかし、戦争について調べる活動は、戦争の被害について知り、平和な世界について考えるためには欠かせないものである。そこで戦争の被害についてより深く知るための手段としてネットを用いることにした。戦争についても多くのサイトがあり、必要な情報を得る手段としては適していると考えられる。

授業の流れ



ICT 活用場面

インターネットで調べる活動は、全体で3時間費やした。

調べるテーマは、「戦時中の衣・食・住について」「戦時中の学校生活について」「原子爆弾の仕組みや被害について」などである。テーマによっては、必要としている情報がなかなか見つからないものもあったようだが、お互いに教え合いながらめざすサイトにたどり着くことができていた。そして必要な情報は、ノートに書き写したり、プリントアウトしたりすることで、後にレポートとしてまとめる資料の一部とした。



成果と課題

- ・ インターネットを用いることで、必要としていた情報をようやく得ることができた児童は、とても満足そうにしていた。
- ・ 子ども向けのサイトも多くあったが、6年生には難しい語句が多く、文章を理解するだけで精一杯の児童もいた。また、中には目をおおいたくなるような悲惨な状況の画像が掲載されたサイトもあり、そういったものは児童の目にふれさせない方がよいと感じた。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	カラーレーザープリンタ
使用ソフト名	インターネットエクスプローラー
使用教室	パソコン教室